



町の子育て支援策により給食費も無償化（P 6）～豊似保育所（10月17日 撮影）

ひろお **議会だより**

No **192**

2019年12月1日発行

【令和元年第3回定例会】



「愛と平和 感謝と奉仕」
サンタランドのまち 広尾町

私たちの税金どう使われたか 平成30年度決算 **2**

幼児教育・保育の無償化 給食費も一部無償化 **6**

一般質問（5人が登壇）

／音調津の津波対策／ I R（カジノ）／公園 **10**

適正な議員定数、議員報酬 特別委員会報告 **15**

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

どう使われたか



令和元年 第3回 定例会

9/6～13

一般会計収入（歳入）合計 76億1807万円

自主財源	町税	9億3973万9464円 (12.3%)
	分担金・負担金	2億385万4182円 (2.7%)
	使用料・手数料	2億2835万8470円 (3.0%)
	その他収入	8億5328万5314円 (11.2%)
依存財源	地方交付税	34億1225万円 (44.8%)
	国庫支出金（国からもらうお金）	4億444万4890円 (5.3%)
	道支出金（北海道からもらうお金）	3億514万6151円 (4.0%)
	地方譲与税・交付金等	3億2022万2222円 (4.2%)
	町債（借金）	9億5077万1000円 (12.5%)

令和元年第3回定例会は、9月6日（金）から13日（金）までの8日間の会期で開かれました。平成30年度決算認定（一般会計ほか9会計）のほか、条例の一部改正や令和元年度補正予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案の通り可決しました。

※議案審議結果は9ページに掲載

町民1人あたりに
使われたお金

（一般会計）

約111万円

※特別会計等を含めると

約169万円

（注）3月末現在の住民基本台帳
人口6,705人で計算したもの

平成30年度各会計収支（歳入・歳出）一覧

会 計 名		収入（歳入）	支出（歳出）
一般会計		76億1807万1693円	74億7048万435円
港湾管理特別会計		1億1013万9557円	1億913万9349円
簡易水道事業特別会計		6829万9717円	6588万8838円
下水道事業特別会計		3億7884万8732円	3億7625万1058円
国民健康保険事業勘定特別会計		10億3532万9032円	10億3214万8409円
介護保険特別会計		7億1587万5639円	7億295万1817円
介護サービス事業特別会計		2億5743万1119円	2億5658万2762円
後期高齢者医療特別会計		1億1815万9155円	1億1735万3759円
国民健康保険病院事業会計	収益的収支※1	9億3454万6472円	7億8744万1142円 ※3
	資本的収支※2	1億9373万6132円	1億9373万6132円
水道事業会計	収益的収支※1	1億6552万7531円	1億6860万8196円 ※4
	資本的収支※2	0円	3885万2083円 ※4

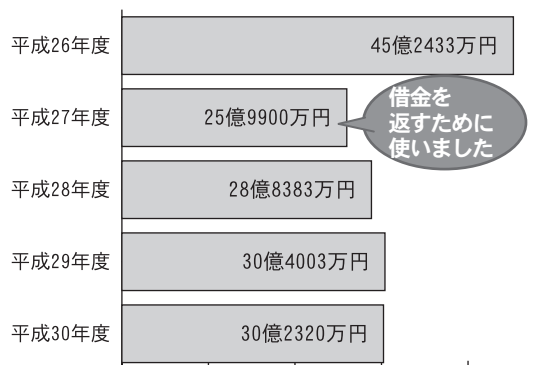
※1 収益的収支～事業活動に伴い発生するすべての収入と支出

※2 資本的収支～将来に備えて行う建設改良や、建設改良に要した借金の返済金などの収入と支出

※3 広尾町国保病院の地方独立行政法人移行に伴い、繰越欠損金（税務上の赤字）を解消する必要があり、8000万円の一般会計からの補助金でカバー（補てん）

※4 収支の不足分は、留保資金などでカバー（補てん）

貯金（基金）残高の推移



借金（町債）残高の推移（全会計）



数字で見た広尾町の財政力

項 目	H 29	H 30
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる。	0.221	0.229 ▲
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。町村では75%以下が適正とされている。	86.5%	91.2% ▲
実質公債費比率 高いほど、収入の多くを借金の返済に使うことになる。25%を超えると借金を制限される。	9.4%	12.9% ▲
将来負担比率 高いほど、将来の財政が圧迫される可能性が大きい。	79.2%	71.8% ▼

平成30年度決算審査

私たちの税金

一般会計支出（歳出）合計 74億7048万円

議会費	8376万7342円 (1.1%)
総務費	6億6444万2465円 (8.9%)
民生費	15億1876万3783円 (20.4%)
衛生費	9億1258万9743円 (12.2%)
農林水産業費	4億5798万5121円 (6.1%)
商工費	3億4942万420円 (4.7%)
土木費	8億172万7185円 (10.7%)
消防費	2億5186万6216円 (3.4%)
教育費	11億6005万1684円 (15.5%)
公債費（借金返済）	12億6986万6476円 (17.0%)

一般会計ほか9会計の平成30年度決算認定について、決算審査特別委員会（山谷照夫委員長）を設置し、9月11日、12日の2日間審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月13日の本会議で討論・採決の結果、全会計の決算が認定されました。

※一般会計、国保事業勘定特別会計、後期高齢者医療特別会計は起立による採決を行いました。（賛否の内訳はP9）

【一般会計決算の概要】

収入（歳入）合計額は76億1807万円（前年度比0.9%増）、支出（歳出）合計額は74億7048万円（前年度比1.1%増）となりました。

収

入の44.8%を占める地方交付税は34億1225万円となりました。（前年度比1億1410万円の減）

町

税収入は前年度比0.3%増の9億3973万円となりました。徴収率は92.6%（昨年度91.9%）で、7185万円が未納となっています。

貯

金（基金）残高は合計で前年度比0.6%減の30億2320万円となりました。

借

金（町債）残高は合計で156億6476万円となり、前年度比3.1%の減となりました。



次のページは
「決算審査特別委員会」

づくりの成果は？

決算審査 特別委員会

9/ 6, 11, 12

委員長 山谷照夫
副委員長 小田英勝

平成30年度決算についての質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

一般会計

公用車の管理

問 車検が切れている公用車は無いが、また、ドライブレコーダーの設置状況は。

答 車検未了はない。ドライブレコーダーは、除雪作業車等に設置しており、一般職員用公用車は検討する。

職員の健康管理

問 健康診断の結果によると、治療を要する職員が昨年より増えているが、

答 もともと持病がある職員もいる。共済組合の電話相談も活用し、事業主として職員の健康管理に努める。

時間外勤務時数

問 平成28年度と比べ、1割以上（1618時間）増えた理由は。

答 150年記念事業の土日開催などにより増加した。

中川一朗記念館

問 基金で管理運営しているが、いつまで記念館を維持するのか。また、解体費用は。

答 基金が無くなった時の結論は出ていない。解体費用など庁内で検討する。

子ども農山漁村交流

問 コーディネート業務委託料とあるが、例えば長崎県西海市との姉妹市町交流は、直営により実施している。ホームステイ事業を最少経費で効率的に出来ないか。

答 事業を執行する上で、効率性を考えて委託と直営に区分する。業務内容・業務量を検証し見

直しする。

問 事後交流に東京都荒川区へ学校給食の食材を提供しているが、広尾の子どもたちにも提供できないか。

答 広尾町の食や生産現場に関心を持つてもらうことや、広尾町産品のPRも狙いである。町の学校給食は、教育委員会と協議し検討する。

十勝バス「広尾線」

問 平均乗車密度は5%を下回っており、広尾町の負担は約2230万円である。乗車率増加の取り組みが必要では。

答 沿線6市町村で構成する広尾線バス輸送確保対策協議会で乗車人数を増やす取り組みや各種割引等を検討している。

移住体験

問 積極的にアプローチすべきでは。

答 移住者に漁業や農業の体験型プログラム等を用意しており、今後

も取り組んでいく。

公衆浴場

問 利用者が3割近く減少したのは、利用料金の値上げが原因では。

答 ①人口減少、②利用者の高齢化、③町民以外の利用者の減、④利用料金の値上げ等複数の要因により利用者減となった。

TMRセンター利子補給

問 利率と期間はいつまでか。

答 TMRセンターが融資を受けている融

サンタメール

問 平成30年度から町内での申込みも一般と同様の1通500円としたが、町内での受付数は。

答 町内申込数は836通で、前年の約半分となった。

問 収益事業であり、創意工夫が必要では。

答 斬新な意見をもらうため、役場の若手職員によるサンタメール意見交換会を組織した。



移住体験者が「昆布干し作業」を体験

1年間のまち



観客を魅了した大迫力の水上花火

中身は、積算してないが、今後調査する。

問 花火の経費や規模の積算は。
答 協賛会から400万円負担している。6000発の

花火大会

問 補助金の対象となる条件が厳しくなったと聞くが。
答 債権保全策として、補助金交付額を返還できる収入のある連帯保証人を2人必要とした。

起業家支援

問 補助金の対象となる条件が厳しくなったと聞くが。

答 債権保全策として、補助金交付額を返還できる収入のある連帯保証人を2人必要とした。

パークゴルフ場

問 町内に5か所あるが、草刈りなど環境整備は適切に実施しているか。

大樹町	市街地	2人
幕別町	忠類	1人
えりも町	目黒	1人
	庶野	1人
広尾町	豊似	4人
	野塚	4人

答

問 30年度に対象となつた13人の内訳は。

高校通学費助成

問 天候に左右される面がある。今後、維持管理を含め指導を徹底する。

答

街路灯

問 快適な環境に努めたところがあるが、野塚・豊似の街路灯の状況は。



野塚市街

答 灯具等に破損があり、修理等検討する。

キャンプ場

問 前年度より利用者が減つた理由は。

答 ここ数年1000人程度の利用者であったが、29年度は町外の団体(45人12泊)の利用により例外的に増加した。

問 維持補修費が少ないが、今後どのように使用するのか。

答 将来的にどうするか転換期に来ており、方向性を検討している。

※P16参照

討論

※一般会計はP7に掲載

国民健康保険事業勘定特別会計

反対 旗手恵子委員

賛成 北藤利通委員

北海道が財政運営の主体となつたが、被保険者の多くが低所得者であるにもかかわらず、保険税が高い構造は変わっていない。また、本町は赤字を5年で解消するとして、賦課限度額の引上げにより負担増となつており、町民の目線に立つた施策にすべきと考え、本決算に反対する。

国民皆保険を持続可能なものとするため、健全で安定的な維持運営を図り、国民の医療確保と健康の保持増進に努めている。被保険者一人あたりの保険料は増額となつているが、低所得世帯に配慮された保険税率であり、保険税軽減が拡大されていることから、本決算に賛成する。

後期高齢者医療特別会計

反対 旗手恵子委員

賛成 北藤利通委員

北海道後期高齢者医療は、全国的に見て所得は低い、保険料は極めて高い実態にある。本町の後期高齢者の経済状況から見ても保険料を過重に引き上げた本決算に反対する。

高齢者の医療を国民みんなで支え合う医療保険制度であり、この制度を運営する広域連合に加入している町として必要な経費である。適正な会計運営がなされていることから、本決算に賛成する。

子育て 支援

幼児教育・保育の 無償化



3歳～5歳児は全員対象

令和元年
第3回
定例会
9/6～13



法律等の改正により、認定こども園、保育所等の利用者負担が無償化されます。また、国が行う無償化以外で1号・2号認定（3歳以上）世帯の年収360万円以上の世帯の給食費（副食費）についても、町が独自に助成し無償とする規則を制定しました。
（10月1日から適用）

問 無償化は消費税を財源としているが、それをどう考えるか。
答 消費税増税は社会保障制度の維持のためでもあり、少子化対策の観点から子育て支援は重要である。さらなる子育て施策を国に要望する。

問 3歳未満の3分の1は認定こども園等に入所しているが、在宅で子育てをしている家庭もある。3歳以上は、ほとんど入所しているため、副食費を含めて無償化した。
答 10勝管内町村の給食費（副食費）無償化の状況は。

○保育無償化の内容

【1号・2号認定】

3歳以上	利用者負担額（保育料）	給食費（副食費）
	全世帯	
	無償	

【3号認定】

0歳～2歳	利用者負担額（保育料）※副食費含む	
	町民税非課税世帯及び第3子以降	課税世帯の第1子、第2子
	無償	費用負担

※平成28年度から第3子以降は町助成により無償

問 無償化により待機児童が増加することが懸念されるが、どのように解消するか。
答 3歳未満児に待機児童が発生している。保育環境の改善を行い、

問 副食費の滞納により、保育中断の可能性はあるか。
答 3歳以上は無償化としており、滞納は発生しないと考える。



1号認定～満3歳以上、保育を必要としない子ども（従来の幼稚園）
2号認定～満3歳以上、保育を必要とする子ども
3号認定～0～2歳、保育を必要とする子ども

平成30年度決算を認定

討論（一般会計歳入歳出決算）

反対
住民福祉
の向上を

前崎 茂議員

経済環境が厳しさを増す中、社会的弱者である高齢者や障がい者、低所得者の生活を支え、住民福祉の向上を図る必要があるが、公衆浴場利用料の値上げなど、町民生活を圧迫している。よって、本決算認定に反対する。

反対
規模縮小
委託削減

小田 雅二議員

子ども農山漁村交流事業の財源がふるさと納税であったとしても、広尾町の予算は、町民に使われるべきであり、財政が逼迫して厳しいのであれば、規模の縮小や業者委託を削減すべきと考え、本決算認定に反対する。

賛成
病院の
体制構築

北藤利通議員

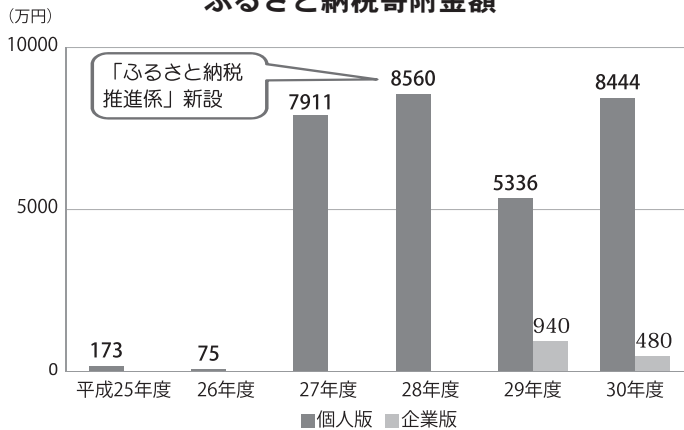
子育て支援の医療費助成や地域福祉、新たな病院体制の構築など、町民が安心して暮らせるまちづくりに努め、平成30年は広尾町150年の節目の年として、記念事業が幅広く実施され、次の世代に未来を引き継ぐ内容であった。
財政運営においても、健全化への努力が認められるものであり、本決算認定に賛成する。

《一般会計採決結果》

賛成 9 反対 3



ふるさと納税寄附金額



令和元年度 補正予算の内訳

一般会計 ②	72億8069万円	1億2759万円	増
港湾管理特別会計 ②	1億1019万円	99万円	増
簡易水道事業特別会計 ②	7440万円	49万円	増
下水道事業特別会計 ②	3億9389万円	379万円	増
国保事業勘定特別会計 ②	9億9298万円	187万円	増
介護保険特別会計 ②	7億1675万円	1399万円	増
介護サービス事業特別会計 ②	2億5992万円	4万円	増
後期高齢者医療特別会計 ①	1億1980万円	※増減なし	
病院事業債管理特別会計 ①	8223万円	354万円	減
水道事業会計 ②			
収益的支出	1億6752万円	31万円	増
資本的支出	5778万円	457万円	増

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)



広尾町150年記念事業としてなつかしい写真も展示

その他決まったこと

- ◎任期満了による教育委員の任命、固定資産評価審査委員の選任に同意しました。
教育委員
中村孝夫さん（再任）任期：令和元年10月1日から4年間
固定資産評価審査委員
山川揚大さん（再任）任期：令和元年10月4日から3年間
- ◎基幹システムサーバー機器（サーバー6台外）を745万2000円で財産取得する議決をしました。
- ◎基幹システム（システム用ソフト外）を5555万円で財産取得する議決をしました。

- ◎申請により氏に変更があった方の旧氏での印鑑登録、印鑑登録証明書への旧氏の併記を可能とするため、条例の必要事項の改正を行いました。
- ◎法改正に伴い、災害援護資金の償還払猶予規定の追加、償還金の償還免除事由を追加しました。また、災害弔慰金等の支給に関し、支給審査委員会の設置規定を定めしました。
- ◎家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正したことに伴い、関係条例の必要事項の改正を行いました。
- ◎成年被後見人等の権利の制限に係る関係法律の公布に伴い、消防団員の定員等に関する条例の文言・条項の改正を行いました。

次のページは「意見書・行政報告・議案賛否・議員の出欠」

意見書3件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

① 市町村へのプラごみ対策の押し付けをやめ、ごみを出さないシステム確立を求める意見書

提出者 旗手恵子議員

国連環境計画（UNEP）はプラごみの廃棄量年間約3億トンと推計し、うち800万トン以上が海に流出している。特に、「マイクロビーズ」を魚

や鳥などが飲み込み、生態系への影響が深刻化していることから国際的に使い捨てプラ製品の製造・流通の禁止に踏み込む流れが強まっている。

海のプラごみ減量のため、すべてのプラ製品を再利用可能なものにするなど等を盛り込んだ「海洋プラスチック憲章」に、日本は署名をしていない。さらに、年間900

万トンのプラごみを排出している日本は、廃棄処理が追いついていない。

政府は、自治体の焼却施設で広域の産廃処理を押し付けようとしているが、国の責任で生産の段階からプラごみ減量対策に取り組むことを強く求める。

② 地域交通・生活交通の維持・確保に係る支援に関する意見書

提出者 前崎 茂議員

人口減少と少子高齢化が進む中、地域住民の足となる路線バスの役割は非常に大きい。「地域間幹線系統確保維持費補助金」は、平均乗車密度が低くなるほど補助金が削減される。広尾町と帯広市を結ぶ広尾線は、国の基準値を下回り、上限額より1割以上減額されている。また、補助以外の赤字分は、沿線自治体の走行距離に応じて負担するが、本町の負担額は増加し続け、これ以上は財政上、限界である。

よって、沿線市町村の負担軽減、路線バスの維持・確保のため、「地域間幹線系統確保維持費補助金」の現行の補助対象経費上限額の引き上げや減額措置を撤廃することを強く要望する。

③ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 浜頭 勝議員

北海道の森林が持つ多面的機能を発揮させ、森林資源の循環利用を進めることは、雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献する。

今後、既存の制度や森林環境譲与税を活用した森林整備の推進などが必要であり、次のことを強く要望する。

- ① 森林整備・治山事業の財源確保、② 道や町負担分の起債を可能とする地方債の特例措置の継続、③ 森林整備から木材の加工・流通、利用まで一体的な取り組み及び林業事業体や人材の育成に必要な支援措置の充実・強化。

提出先

北海道知事～②、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣～①②③、財務大臣・文部科学大臣・農林水産大臣・復興大臣～③、経済産業大臣・環境大臣～①③、国土交通大臣～②③

村瀬町長からの行政報告

※内容は要約しています。



普通交付税の決定

令和元年度の普通交付税決定額は、31億2,863万円となり、前年度と比べて913万9,000円、0.3%の増となった。

幼児教育・保育の無償化

子ども・子育て支援法が本年5月に改正され、3歳～5歳児の年収360万円以上の世帯は、保育料は無料となり、新たに給食費のみの自己負担が発生することとなるが、本町の子育て世帯の経済的負担の軽減と少子化対策の推進を図る観点

から、町独自に対象を拡大し、3歳～5歳児のすべての世帯の給食費（副食費）の無償化を行うこととした。

医師派遣に伴う陸上自衛隊十勝飛行場の利用

4月から地方独立行政法人化された広尾町国保病院は、社会医療法人北斗 北斗病院の関連病院として、改めて医療提供体制の充実に向け努力を続けている。

北斗病院では札幌市などから来る医師の移動負担の軽減を図り、医師を安定的に確保する方策として、とち帯広空港を発着地とした小型航空機を活用しているが、広尾町国保病院、北斗病院双方における安定的な医師派遣体制確保対策として、北斗病院から近距離にある陸上自衛隊十勝飛行場を利用できることとなった。



私たちが今できることは

令和元年 第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

議 案 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎	
平成30年度一般会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	—	認定(9-3)
平成30年度国保事業勘定特別会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	—	認定(9-3)
平成30年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	—	認定(9-3)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

（令和元年6月定例会終了後～令和元年9月定例会まで）

（1）定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
開催日	開催会議名・主な内容														
9/6	第3回定例会（条例改正など）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/10	第3回定例会（一般質問）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/13	第3回定例会（決算認定、意見書など）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		3日	出席日数計		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

（2）委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 —：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
開催日	開催会議名・主な内容														
7/11	第2回産業常任委員会		—	○	—	—	—	○	—	—	○	×	○	○	○
8/7	第3回総務常任委員会		○	—	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	○
8/7	議会広報編集会議		○	—	—	○	○	—	×	○	—	○	—	—	—
8/8	議員定数等に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
8/16	第3回議会広報特別委員会		○	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
9/3	第4回議会運営委員会		—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○	○
9/6	決算審査特別委員会（正副委員長互選）		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
9/11	決算審査特別委員会		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
9/12	決算審査特別委員会		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
9/13	議会広報編集会議		○	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しています。
※決算審査特別委員会は議長、議選監査委員を除く議員で構成されています。

（3）議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 —：対象外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
開催日	開催会議名・主な内容														
6/18	議会報告会（豊似・1班）		○	—	—	—	○	○	×	—	—	○	○	○	○
6/18	議会報告会（コミセン・全議員）		○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
6/25～26	全道議員研修会（札幌市）		×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
7/9	全道新任議員研修会（札幌市）		○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/12	議会モニター会議（1班）		○	—	—	—	○	○	○	—	—	早	○	○	○
9/10	第6回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



次のページは「一般質問」
『音調津の津波対策・バス停・教職員勤務実態』

ズバリ 町政を問う — 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について、報告を求めたり、疑問をたずねることです。

広尾町議会では1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

9月定例会では、
5人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター
「さーたちちゃん」

●一般質問 項目一覧

山谷照夫議員	どうする？音調津地区の津波対策	P10
前崎 茂議員	高齢者にやさしいバス停留所を	P11
	教職員の時間外勤務時数の把握は	
旗手恵子議員	医療機関の税負担解消を図るよう国に要望すべき	P12

小田雅二議員	I R（カジノ）に反対のメッセージを	P12
	議選監査委員の義務づけ緩和への対応は	P13
	子供農山漁村ホームステイ事業 対象を特定化する意味とは	
浜頭 勝議員	集約した大きな公園を作るべき	P14

質問 マグニチュード9クラス、津波の高さ30メートル超と予想される十勝沖、根室沖を含む千島海溝沿い超巨大地震に対し、特に孤立が懸念される音調津地区の避難所である音調津定置番屋と音調津総合センターの2か所については、安全が確保されていない。町は、この課題をどのように考えているか。1つに、*広尾町強靱化計画策定の中での対策は。2つに、スキー場跡地などの避難場所に最低限の建物やトイレを設置する考えは。さらに、既存の公共施設である葬斎場を一時的避難所として利用する考えはないか。



やまや 山谷照夫 議員

音調津地区は、スキー場跡地、音調津陣屋線駐車帯が緊急避難場所となっている。スキー場跡地の防災保管庫には、食料、飲料水、生活用品等が備蓄されているが、音調津地区の孤立が予想されることを考えると、防災資機材等をはじめ、備蓄品の再点検も考えなければならない。建物やトイレの設置は、日常の維持管理もあるため、町内会含め自主防災会と相



食料等が保管されている防災保管庫（スキー場跡地）

答弁 村瀬町長

どうする？
音調津地区の津波対策
町長 町内会などに
相談して進める

話し、検討していきたい。また、強靱化計画にも位置づけていきたいと考える。葬斎場の活用は、方法や耐震化も含め、今後の課題とする。



※広尾町強靱化計画

大規模自然災害への対応を見据えつつ、産業、交通、エネルギー、まちづくりなど幅広い分野における機能の強化を平時の段階から図ろうとする計画で、本町は令和元年10月に策定しました。

高齢者にやさしいバス停留所を



まえざき 前崎 茂 議員

町長 可能な箇所にはベンチ等を設置したい



高齢者にやさしいまちづくりのために

現在、町内のボランティアや個人の方のご厚意により、町内数か所の歩道脇にベンチが設置されている。バス停留所周辺の状況を調査した上で、設置可能と判断される箇所について取り進めていき、通院や買い物などに安心して路線バスを利用していたきたい。

質問 本町の75歳以上の割合は21%で、5人に1人以上となり、運転免許証の返納数も年々増加している。

そのため、高齢者のバス利用が増加しているが、バス停留所で待っている間、縁石などに座っている方を見かける。ある高齢の方から、「腰痛で5分10分立っているのがつらい。椅子などを置いてもらえないだろうか。」との声が寄せられた。高齢者にやさしい、安心して住み続けられるまちづくりのためにも、バス停留

答弁 村瀬町長

バス停留所への椅子の設置に際しての課題は、国道や道道に置く場合、国や北海道に道路占用許可の協議が必要となる。また、設置した椅子等が道路を走行する車両や通行人などに危険を及ぼすことがないよう、安全対策を万全にしなければならず、日常的な管理は、地域住民や周辺事業所の協力が必要不可欠である。

まえざき 前崎 茂 議員

教職員の時間外勤務時数の把握は

教育長

「広尾町立学校職員勤務管理システム」を活用

質問

道教育委員会は「学校における働き方改革」を策定した。

答弁 菅原教育長

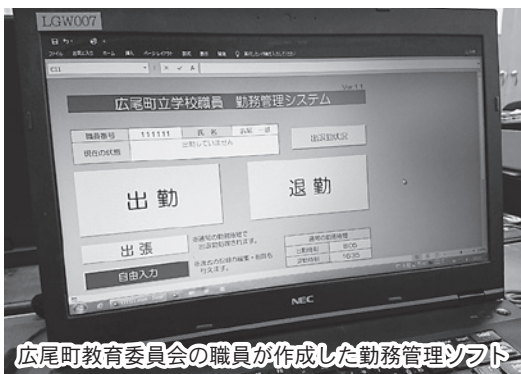
本町でも昨年6月の一般質問で取り上げ、教職員の時間外勤務時数については把握していないとのことであったが、「労働安全衛生法」の改正により、本年4月から、管理者も含めて時間外勤務時数は、原則月45時間、年360時間までとしている。

北広島市では、ICカードを、土別市では指紋認証システムを導入しているが、本町はどのように把握しているか。また、管理者を含め教職員の時間外勤務時数はどのようなになっているか。

「広尾町立学校の部活動のあり方に関する方針」の実施や、各種教育関係団体の見直し、整理統合により会議等の削減、指導記録のシステム化等、現場と十分調整をしながら、月45時間をクリアし、教職員の負担軽減に努めたい。

時間外勤務時数については、町内3校のうち2校が上限の月45時間を超えている状況にある。

町は、「広尾町働き方改革アクション・プラン」を今年4月に改定。また、現在策定中の



広尾町教育委員会の職員が作成した勤務管理ソフト



はたて 旗手恵子 議員

医療機関の税負担解消を 図るよう国に要望すべき

町長 国がさらなる施策を
進めるよう要望する

質問 公的保険医療は、消費税「非課税」とされ、医療機関は患者から消費税を受け取っていないが、診療に必要な機器や消耗品の購入に係る消費税は、診療報酬の上乗せで、補てんされる仕組みとなっている。高度医療機器や施設整備で高額な投資を行うと、補てん不足となること指摘される。

の医療機関の消費税負担額を還付する「ゼロ税率」を適用し、負担解消を図るよう、国に要望すべきではないか。

され、マイナスになれば還付される仕組みも提案されている。国がさらなる施策を進めるよう、町としても要望していく。

答弁 村瀬町長

町立病院の過去5年間の消費税損税額と消費税10%後の負担増見込み額はいくらか。

町立病院の過去5年間の消費税損税額は「下表のとおり」であり、10%増税後の負担増の見込額は42万7千円。

医療機関の消費税負担は診療報酬に上乗せするだけの現在の方法では解決しない。控除対象外消費税が発生しない仕組みとして、消費税法を改正し、保険診療を課税として患者負担を増やさないゼロ税率で課税取引にすることで、医療機関が支払った消費税は全額控除

国は消費税10%増税に向け「診療報酬の配点方法を精緻化する」ことで医療機関種別の補てんのばらつきは是正されるとしているが、実態は、消費税増税中止で、個々

町国保病院の消費税損税額

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
消費税損税額	1,680万1,000円	1,901万9,000円	1,445万7,000円	1,536万5,000円	2,045万6,000円

※ゼロ税率

税率をゼロ%にして課税すること。保険診療報酬がゼロ税率の適用となれば、患者・医療機関に税負担は生じない。消費税納税額の算出上、支出した消費税は全額控除されるため、多くの医療機関で消費税が還付され、控除額の申告作業が煩雑になるが患者負担を増やすことなく損税問題を解消できるとされる。

I R（カジノ）に 反対のメッセージを



おだ 小田雅二 議員

町長 北海道の動向を見守りたい

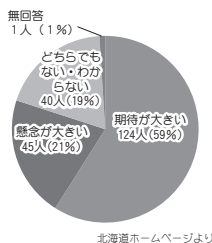
質問 道は、カジノを中心とした複合観光施設（IR）の誘致を検討中であり、説明会やインターネットでのアンケート調査を行っている。その結果、誘致に肯定的な意見が6割から8割としているが、道新による世論調査では約7割の人が反対という全く逆の結果が出ている。

対のメッセージとなることを期待するがどうか。

答弁 村瀬町長

平成28年に、通称カジノ法案が成立。カジノのほか、ホテルや映画館、ショッピングモールなど複合集客施設をつくり、特に外国人観光客を呼び込み、日本経済を活性化させる目的がある。

しかし、カジノを含む統合型リゾートの誘致により、ギャンブル依存症の増加や、多くの人々が集まるため犯罪が起こりやすく治安が悪化するのではとの声がある。



北海道ホームページより

IRに関する地域説明会 来場者アンケート結果

- 開催期間：平成31年1月～3月
- 開催地域：7地域（札幌、釧路、苫小牧、帯広、函館、網走、旭川）
- 来場者数：307人
- 回答者数：210人（うち男性175人、女性35人）

- 北海道誘致で期待する効果（複数回答可）
雇用の増加（60%）、観光客の増加（67%）、地域・産業の活性化（60%）、道や市町村の財政向上（48%）、カジノを利用することができ（8%）、関連施設を利用することができる（31%）、特になし（8%）、その他（10%）
- 北海道誘致で影響が懸念されること（複数回答可）
治安の悪化（35%）、依存症患者の増加（31%）、青少年に悪影響を及ぼす（27%）、自然環境が破壊される（27%）、特になし（32%）、その他（20%）

道が今後、道内誘致のアンケートを実施する予定のため、集計結果を注視したいと考えているが、政策の問題は、道が判断するところであり、本町としては直接的に関わる場所ではないため、道の動向を見守りたい。

議選監査委員の義務づけ緩和への対応は

町長 必要に応じて理事者双方で協議をしていく



役場庁舎3階にある監査委員室

質問

2年前の地方自治法の一部改正で議員の中から選出される監査委員の選出の義務付けがなくなり、各自治体の判断となった。

監査委員は、専門性や独立性のある監査機能を重視することとし、議会集中し、議会自体の機能強化に励みなさいという趣旨からの地方自治法の改正かと思われる。

このことについて、庁内での議論はあったのか。

また、議会選出監査委員を指名提案する側の町の立場からの考えを求める。

答弁 村瀬町長

地方自治法改正に至った理由として、監査委員としての専門性や独立性などの問題が挙げられており、一方で議選監査委員のメリットとして、幅広く行政を監視する議員は、財政会計においても実効性のある監査を期待できる。2つ目に、住民

代表として執行機関に対する権威、責任を保つことができるなどが挙げられている。

この議選監査委員の廃止の議論について、庁内での協議には至っていない。議会の中でも十分に議論をしていたが、必要に応じて理事者双方で協議をしていくものと考えている。

子供農山漁村ホームステイ事業 対象を特定化する意味とは

町長

交流事業は長く続けて
成果が出るため

質問

この事業は、相手方の航空運賃や宿泊費用等をほぼ全額広尾町負担ということから、反対の立場である。

なぜ荒川区内の小学校に特定をしているのか。いろんな地域の学校との交流がこの事業自体の活性化につながるのでは。

また、被災地である福島県の、外で自由に遊べない子供たちを招待して十勝の自然を楽しんでもらう保養事業が帯広市を含め、各地で行われている。サンタランドのまちとしてもこのような形で推し進めることも可能で、偏らない選定がこの事業には必要ではないか。

答弁 村瀬町長

子ども農山漁村交流事業は、国の認定を受けた地域再生計画に織り込まれているホームステイ事業である。

対象を荒川区としているのは、広尾町の出身者がそこで活躍をしているというきっかけがあり、地域の交流事業は短期間で変えるものではなく、長く続けて初めてさまざまな成果が生まれてくるものと考えている。また、他の地域では財源手当を含め、新たな事業設計をしなければならぬため、現在は考



荒川区の子どもたち



はまがしら
浜頭 勝 議員

集約した大きな

公園を作るべき

町長

第6次まちづくり

計画で検討したい

質問

町内には丸山公園をはじめ色々な公園があり、使われ方も様々である。ただ、遊具に関しては、ありきたりなものが多く保護者達

は他町村の公園に行くような状況にあり、公園の数よりも、1箇所が良いから子供たちが色々な遊びができる大きな公園が欲しいという声が多くある。さらに「広尾の子は広尾で育てる」を掲げている本町である。

また、公園は災害時には色々な使われ方をされることで、防災・減災の観点からも大事であり、今後のまちづくりには、町民みんなが楽しく集える大きな公園は必要と思うが、町長の考えは。

答弁

村瀬町長

町内には、丸山公園、新丸山公園のほか、市街地に6か所の公園がある。今後の大規模な整備は、費用面からすぐには計画できないが、第6次まちづくり計画（令和3年度から令和12年度までの10年間）でも、町民の交流の核となるよう、整備や他の施設との連携等さまざまな可能性を検討したい。

ければならないと考える。使命を果たした事業の見直しなど、今の時代に合った政策を立案し、財政の規律と子育て支援の両面をにらみ合わせて考えていきたい。

また、子ども・子育て支援事業計画のアンケートでは、「子育て支援について特に期待をすること」について、「子ども

が楽しく遊べる場所を増やしてほしい」が70%弱の回答だった。こういった声を計画に盛り込ま



十勝神社敷地と隣接した丸山公園の遊具

収支バランス改善へ

ごみ処理手数料改正方針

適正な料金を

第6回

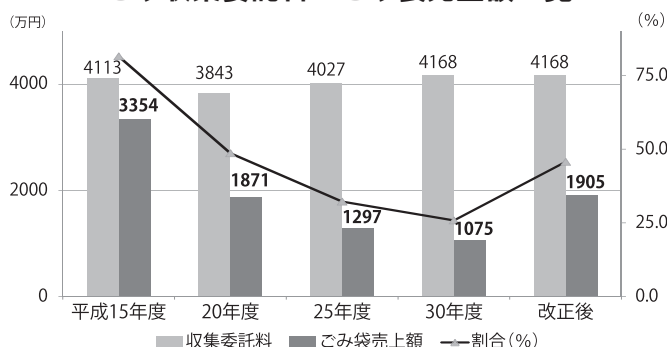
議員

協議会

9/10



ごみ収集委託料・ごみ袋売上額一覧



ごみ収集費用の負担を5割へ

当初ごみ収集運搬委託料は5割程度をごみ袋の売上額で賄う予定でしたが、人口減少やごみの減量化、本・雑誌類の資源

化などにより、ごみ袋の売上額が減少となり、ごみ収集費用との収支バランスが悪化し、平成30年度は予定の半分にとどまりました。

※1袋…10円・50円の値上げ予定

町は「事務事業の見直しによる適正な手数料改正」を必要とし、12月開催予定の定例会において条例改正案を提出すると説明がありました。

町は「事務事業の見直しによる適正な手数料改正」を必要とし、12月開催予定の定例会において条例改正案を提出すると説明がありました。



来年は改選期となります

議員定数等に関する 調査特別委員会報告書(概要)

委員長 浜頭 勝 副委員長 ^{おだ}小田 雅二

平成29年第3回定例会（9月15日）において設置された本委員会より、令和元年第3回定例会で調査結果の報告がなされました。

概要は以下のとおりです。

なお、委員長報告後、議長の調査終了宣告により本委員会は消滅しました。

十勝管内各町村の議員定数・議員報酬

(令和元年9月6日現在)

町村名	人口 (R元・9月末)	議員 定数	議 員 報 酬 (単位:円)					
			議 長	順位	副議長	順位	議 員	順位
音更町	44,377人	20人	397,000	1	321,000	1	281,000	1
幕別町	26,637人	19人	323,000	2	258,000	2	212,000	2
芽室町	18,497人	16人	306,000	6	244,000	6	204,000	5
清水町	9,375人	13人	275,000	15	219,000	14	183,000	14
本別町	6,948人	12人	292,000	11	230,000	11	185,000	9
足寄町	6,822人	13人	300,000	7	235,000	7	188,000	7
広尾町	6,694人	13人	294,000	10	235,000	7	185,000	9
池田町	6,627人	12人	296,000	8	234,000	9	185,000	9
士幌町	6,078人	12人	310,000	5	245,000	5	195,000	6
新得町	5,992人	12人	296,000	8	233,000	10	188,000	7
大樹町	5,527人	12人	286,000	12	227,000	12	185,000	9
鹿追町	5,365人	11人	316,000	4	249,000	4	205,000	4
上士幌町	4,957人	11人	261,000	17	210,000	17	165,000	17
浦幌町	4,637人	11人	318,000	3	254,000	3	212,000	2
中札内村	3,917人	8人	267,000	16	211,000	16	169,000	16
更別村	3,174人	8人	258,000	18	203,000	18	162,000	18
豊頃町	3,146人	9人	281,000	14	225,000	13	185,000	9
陸別町	2,366人	8人	286,000	12	217,000	15	175,000	15

※人口は、北海道ホームページより

議員定数現状維持の賛否

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

委員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	浜野	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	こた	おだ	旗手	浜頭	堀田
賛 否	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	欠	—	—

※堀田議員は議長、浜頭委員は委員長のため、採決に加わりません。

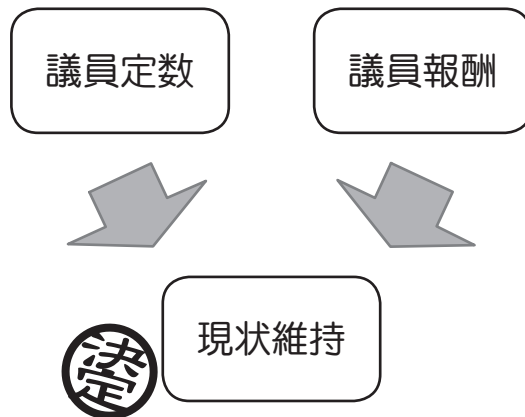
委員からは、「町の財政状況から上げる環境にない」、「懇談会での意見は現状維持が大勢となっている」、「活動に見合った報酬の額となっている」などの意見があり、現状維持と決定しました。

委員からは、「住民からの意見や要望を把握する機会

町民からは報酬増によって議会の活発化を期待する意見や町の財政状況が厳しい中、報酬増に伴う町民負担を危惧する意見などが出されました。

ありました。

議員報酬



全国の町村で議員のなり手不足が深刻化しており、本町においても平成28年執行の町議会議員選挙では無投票当選となっている。議員のなり手不足は、議員定数と議員報酬についても大きく関わる問題であることから、議長を除く全議員による調査特別委員会を設置し、本町の適正な議員定数及び議員報酬について調査を行いました。

適正な議員定数や議員報酬を検討するために、議員研修会を開催し、また、町民の意向を把握するため、議会報告会や議会懇談会などで意見や要望を受けました。

が減少し、民意を反映する機能が低下する」、「活発な議論により将来のまちづくりを考えるべきであり、議論に必要な人数として現状維持とすべき」や、「人口減が進んでいる現状であり、議員定数を減らすべき」など、現状維持と定数減の両方についての意見があり、採決の結果、現状維持と決定しました。

考えた!



総務常任委員会

委員長 北藤利通 副委員長 前崎 茂

調査日 令和元年8月7日

社会教育施設の 現状と課題

～老朽化したキャンプ場の今後は～

課題と改修等費用

社会教育施設には、水銀灯や蛍光灯を使用した照明器具が多数設置されているが、製造中止等により将来的に入手困難が想定される。そのため、今後の在庫の動向によっては、施設の改修を急ぐ必要があり、費用面も今後の重要な課題となる。

社会教育課が管理する全施設のLED化に係る費用総額は、9,370万円。施設の改修費全体では約2億8,500万円が見込まれる。

キャンプ場の現状

野外活動施設（キャンプ場）は、昭和54年に建設され、平成6年に増設と補修を行った以降は改修していない。今後の改修費用合計は約6,000万円を見込み、運営継続には、安全確保のためフェンスやトイレ、給排水に係る部分の改修が必要となる。受付のD



老朽化し、一部使用禁止となるファミリーキャビン

型ハウスも塗装しなければ、冬期間の積雪により倒壊する恐れがあり、ゴミの集積場も老朽化が激しく、ファミリーキャビンやテントサイトは、木材が腐食し、一部を使用禁止にしている。

利用状況は、昭和59年に年間2万人近い利用者があったが、近年の利用者は1,000人程度にとどまり、このうち町民は50人程度である。収入は、年間約40万円、修繕や改修費を除く維持管理経費は、年間約350万円である。

施設名	建設年度	今後の課題	改修費用
野外活動施設（キャンプ場）	昭和54年	屋根、外壁塗装工事・LED化 浄化槽機器更新・フェンス改修	5,943万円
勤労者体育センター（体育館）	昭和57年	屋根葺き替え・LED化	3,870万円
海洋博物館	昭和59年	トイレ洋式化・LED化	1,050万円
伝習館	昭和58年	LED化	520万円
広尾町民プール	平成2年	ボイラー更新・LED化 水槽全面塗膜防水	2,520万円
豊似地域ふれあいプール	平成10年	ボイラー更新・LED化	1,235万円
野塚公民館	昭和45年	LED化	90万円
高齢者健康増進センター	平成4年	LED化	580万円
コミュニティグリーンパーク	平成4年	LED化	4,100万円
町営丸山球場	昭和47年	フェンス、グラウンド改修	2,000万円
町営スキー場	昭和46年	リフト更新・ロッジLED化	1,040万円
音調津総合センター	昭和55年	LED化	210万円
児童福祉会館	昭和41年	移動図書館車、音響機器更新	4,000万円

※一部のみ掲載

問 使用不能のものは速やかに撤去すべき。

キャンプ場の今後は。

答 規模を縮小しても維持管理費がかかる。施設の取捨選択も視野に入れていく。

問 キャンプ関連企業の経営ノウハウ等を参考に、二ーズや規模の見直しが必要では。

答 民間の経営手法の検討は行っていないが今後検討する。

問 恵まれた環境をどう活かして交流人口の増加を図るか、様々な観点から研究・検討し、最も良い形を提案して欲しい。

答 民間とのタイアップや交流人口の増加の方策など、研究し提案したい。

問 勤労者体育センターは近年利用者が増加傾向であり、屋根の改修を速やかに行うべきでは。

答 屋根の改修は、当面、小破修繕で対応する。

産業常任委員会

委員長 小田英勝 副委員長 山谷照夫

調査日 令和元年7月11日

観光振興と各種イベントの実施状況

③広域観光の推進
四町広域宣伝協議会（広尾町及び日高3町）は、国内外観光客誘致のため、異業種交流研修事業や四町観光パンフレットの増刷、えりも岬周辺を舞台とする映画製作に向けた取り組みなど各種活動をしている。

日高東部・十勝南部広域連携推進協議会（日高東部3町及



サンタランドツリー点灯式の様子

④毛がにまつり…毛がにの大釜茹で、毛がに汁、広尾町のほか芽室町、長崎県西海市の特産品の販売やお楽しみ抽選会などを行い、町外からも多くの来場がある。

問 函館市の管
答 崖側は北海道森林管理局。道路側は、帯広開発建設部の道路事務所と協議をして草刈を行っている。

問 点灯式の予算増額の理由は。
答 警備の人員増と、通路の安全確保のためのレンタル照明費用、合唱する園児の衣装代により増額となった。

問 つつじまつの送迎車両の対象者は。
答 高齢者や足の不自由な方等が優先だが、特に制限はない。

問 車両の対象者は。

答 高齢者や足の不自由な方等が優先だが、特に制限はない。

問 点灯式の予算増額の理由は。

答 警備の人員増と、通路の安全確保のため

問 点灯式の予算増額の理由は。

答 警備の人員増と、通路の安全確保のため

問 点灯式の予算増額の理由は。

答 警備の人員増と、通路の安全確保のため

観光振興

具体的な事業

①観光協会への補助

町内観光関連業者の育成指導や、友好都市のまつり等で広尾町の観光物産の宣伝紹介を行い、観光資源の開発及び観光客の誘致を図っている。

②広尾町応援リーダー

広尾町出身者や縁のある人を「広尾町応援リーダー」に委嘱し、広尾町の観光資源や特産品等の知名度向上を図っている。令和元年6月1日現在、26名に委嘱。

③広域観光の推進

四町広域宣伝協議

各種イベント

①つつじまつり…

商工会青年部が中心となり、農協、漁協、商工会の各女性部の協力で実施している。

②十勝港まつり

【海上花火大会】十勝管内で唯一、港で開催される花火大会。巡視船体験航海、YOSAKOIソーラン舞、ポートバザール、ステージイベントなどが行われる。

【ふるさと夏まつり】仮装盆踊大会、陣屋太鼓などのステージイベント、抽選会などが行われる。

③サンタランドツリー点灯式…飲食物やクリスマス雑貨が販売されるほか、子どもたちによる合唱や花火の打ち上げが行われる。

④毛がにまつり…毛がにの大釜茹で、毛がに汁、広尾町のほか芽室町、長崎県西海市の特産品の販売やお楽しみ抽選会などを行い、町外からも多くの来場がある。

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会

議会活動日誌

令和元年9月～11月

【9月】

- 3日 第4回議会運営委員会
- 4日 市街地区敬老会
- 6日 第3回広尾町議会定例会（～13日）
- 8日 福祉まつり
- 10日 第6回議員協議会
- 13日 議会広報編集会議
- 19日 特養・老人ホーム・生活支援ハウス合同敬老会

【10月】

- 9日 高規格道路臨時中央要望（東京都）
総務・産業常任委員会合同行政視察（～10日・石狩市、小樽市、厚真町、むかわ町）
- 23日 第7回議員協議会
- 26日 サントランドツリー点灯式
- 28日 十勝町村議会議長会議員研修会（足寄町）
- 29日 高齢者スポーツ大会
- 30日 自民党北海道第11選挙区支部「地域政策懇談会」

【11月】

- 10日 東京広尾会（東京都）
- 12日 議会広報編集会議
- 13日 全国町村議会議長会創立70周年記念式典及び町村議会議長全国大会（12日～・東京都）
- 15日 新過疎法制定実現総決起大会（第50回定期総会）（東京都）
- 19日 第4回議会広報特別委員会
- 23日 自民党北海道第11選挙区支部「政経セミナー」（幕別町）
- 25日 第4回広尾町議会臨時会
第8回議員協議会
- 28日 広尾町商工会永年勤続優良従業員表彰式典
- 29日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和元年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①胆振東部地震における被害及び復興状況並びに被災者支援の状況について

◇産業常任委員会

- ①北海道における電力の安定供給に向けた取り組みについて

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

議場deコンサート開催♪

と き：12月26日（木）16時から

ところ：議会議事堂（役場3階）

出 演：陣屋太鼓保存会



大迫力の太鼓演奏を間近で聞くチャンスです！
ご家族やお友達、職場仲間を連れてぜひお越しください。
当日は上履きをお持ちいただきますようお願いいたします。

ぎがいトピックス

9／6 北海道議長会から表彰

星加廣保議員は町議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、このほど北海道町村議会議長会から表彰されました。表彰状は、9月定例会の冒頭に堀田成郎議長から伝達されました。



10／28 十勝町村議会議員研修会に参加

十勝町村議会議長会による「議員研修会」が足寄町で開かれ、議員12人が参加しました。この研修は、議員活動に役立てることを目的に毎年開催されているものです。今年は、北海道十勝総合振興局長の三井真氏が自身で作成した紙芝居を用いて「とかちカラ 未来へ」をテーマに講演が行われました。

